

あがたの森文化会館 連続講座

重要文化財旧松本高等学校と あがたの森公園の自然との共存

－「松本のたから」を未来に残すために－

旧松本高等学校は、大正時代の木造学校建築の典型として重要文化財に指定されています。校舎の保存と指定にあたっては、松本高等学校と信州大学文理学部の卒業生の皆さんの熱い思いがありました。

本講座は、旧松本高等学校を「松本のたから」として末永く後世に伝えていくため、「旧松高校舎」とヒマラヤスギ並木やあがたの森をはじめとする周辺の「自然環境」の価値を正しく理解し、ともに重要な2つの「たから」の共存を図る方法について市民と共に考える講座です。

令和 7・8年度にかけて実施した連続講座の集大成として、専門家を招いてのフォーラムを開催します。

【開催した講座】

- 講座1 「学校とヒマラヤスギ」（講師：あがたの森文化会館 館長 木下 守）
- 講座2 「旧松本高等学校の価値と保存継承に必要なこと」（講師：文化会館職員）
- 講座3 「あがたの森の自然環境」
（講師：信州野鳥の会 顧問／アルプス草笛会 会長 上條 恒嗣さん）
- 講座4 「～あがたの森の景観を守るために～校舎とヒマラヤスギの良好な関係を考える」
（講師：松本市文化財審議委員会委員〔自然（植物）〕 小山 泰弘さん）

【フォーラム】「重要文化財旧松本高等学校とあがたの森公園の自然との共存」

日時：令和8年7月26日（日） 13時30分から16時まで

会場 あがたの森文化会館 講堂 ホール

〈講演〉

講演1 テーマ「学校建築、旧松高校舎の価値について」

松本市文化財審議委員会委員（建築史） 梅干野 成央さん

講演2 テーマ「文化財建造物の活用について」

松本市文化財審議委員会委員（建築設計） 米山 文香さん

〈パネルディスカッション〉

パネリスト 上條 恒嗣さん、小山 泰弘さん、
梅干野 成央さん、米山 文香さん

- 参加費無料 どなたでも参加できます
- 申し込み不要 直接会場へお越しください
- お問合せ 松本市教育委員会 生涯学習課
あがたの森文化会館 TEL32-1812



「松高正面玄関」
画 柚木沙弥郎